

皆様からいただいた声を市政に反映させるべく、  
2025年も本会議や委員会でも多くの質疑を行なってきました。  
主な質疑の概要を紹介します。

市民の声と、  
働く女性・母としての目線を活かす!

## 神戸、長田の未来

議事録・録画配信は  
神戸市会ホームページ



神戸市会

検索



### 子供たちの 活動を応援!

### 費用負担の課題

2025.9.18 | 決算特別委員会 教育委員会審査

**Q** 指導者の人件費が生じるための会費負担、公共交通を利用する場合の交通費の負担などに不安の声がある。特に交通費については、できるだけ発生しないよう近くで活動を確保できるのが望ましい。現状、近くで活動が確保できない郊外も第三次募集で不足を解消していけるのか。

**A** 現在の部活動の主要な種目は、生徒が在籍する学校、または自転車で移動できる範囲で活動を選択できるよう確保に取り組んでいる。一定のめどが立ちつつあるが、3次募集できめ細かく調整していきたい。郊外部でどうしても移動手段の確保ができない地域も、格差が生じることのないよう対策を検討していく。

### 「KOBE◆KATSU(コベカツ)」と「部活動」の違い

2025.9.18 | 決算特別委員会 教育委員会審査

**Q** 部活動とは学習指導要領などにどのように位置づけられているのか。また、部活動の地域展開後はどのような扱いになるのか。特に「習い事」との違いを明確にしながら位置づけを行い、筋の通った財政支援を行うべきだが。



**A** 今の部活動は学習指導要領で生徒の自主的、自発的な参加による教育課程外の活動とされているが、学校教育の一環として、教育課程との連携に留意することと位置づけられている。地域展開後、国がどう位置づけるかはまだ明確にされていないが、「部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させる活動」「学校との連携が大切」という2つにおいて一般的な習い事とは違うという認識だ。



2025.12.1 | 教育こども委員会

**Q** 生徒がやりたい活動に参加できるよう、家庭の経済状況等によって、登録団体が独自に会費の割引を行う対応は認めるのか?

**A** 会費については透明性を持って、公平な会費の設定となるよう要請する。できるだけクラブが柔軟に運営できるようにしたいが、経済状況に関わらず参加しやすいようにという部分は、しっかり市として対応していきたい。

### コベカツ応援基金 (仮称)

決算市会での議論を経て市長は

- コベカツを条例で位置付けし、市がしっかり関与
  - 保護者の負担を軽減する予算を措置する
  - 基金を運動器具や楽器などの更新にも対応
- と発表しました。



自民党神戸市会議員団・無所属の会の  
YouTubeチャンネルで  
質疑をご覧いただけます



### 猛暑への適応策

2025.10.10 | 本会議 一般質問

**Q** 熱中症アラートが頻繁に発令され屋外活動が制限される猛暑下で、全年代で対策は必要だが、とりわけ夏休みの子供達が体を動かす機会が乏しく、体力低下が心配だ。例えば、公園の遊具に遮熱ネットを設置したり、夏休み期間の小学校体育館の開放や、市が所管する体育館等の無料開放により、子供たちが安心して体を動かせる環境づくりを進めるべきではないか。

**A** こうべ木陰プロジェクトやクールスポットの設置、市立の全小・中学校に空調機、ウォータークーラーの設置など適応策を推進している。現在、東遊園の歩道部で実験中の自動開閉式のシェードや、遮熱ネット等を幅広く展開していきたい。小学校の体育館、市立の体育館の開放も、空調設備の状況も勘案しながら積極的に検討をしていきたい。



# 地域の活力を守る!



## 住宅供給の推進

2025.10.10 | 本会議 一般質問

**Q** 多様化する住まいのニーズへ対応するため「良質でちょうどよい戸建て中心の住宅供給」に取り組み、郊外を中心に市有地売却の公募が開始された。長田区では西市民病院の移転後の跡地、マネジメント対象となった市営住宅の跡地の活用など、市街地で空洞化が課題となっている地域でも積極的に進めるべきだがどうか。

**A** 2030年までに戸建て中心に5,000戸の住宅供給を計画的に進める。北区や西区からスタートし、次のステップで局横断のプロジェクトチームにより市営住宅や施設の跡地などの活用にサウンディング調査を始めている。西市民病院、市営住宅などの公共施設の跡地活用も積極的に実施していく。市街地ではまとまった規模の市有地は貴重な財産で、住宅供給に合わせ、地域の賑わいや利便性に資する施設など、幅広く検討する。



## 長田区への観光誘客

2025.3.6 | 予算特別委員会 経済観光局審査

**Q** 長田区南部のエリアには、鉄人28号のモニュメントや、市場や商店街といった下町の街並み、食文化、駒ヶ林の魚市場など、個性と多彩な魅力がある。漁港での食のイベントでは混雑が課題となるほど集客している。こうした各区に存在する大小様々な観光資源を磨き、国内外からのリピーターの観光客向けのコンテンツづくりが重要ではないか。

**A** 須磨シーワールドができ、垂水のアウトレットなど神戸の西への誘客施設ができています。市街地からのルート上にある長田のポテンシャルを活かして、リピーター向けに地域の魅力のプロモーションにも力を入れていきたい。



行政サービスに地域差・偏在が生じ  
平井 真千子 議員 (自由民主党)

自民党神戸市会議員団・無所属の会の  
**YouTubeチャンネル**で  
質疑をご覧いただけます



▲ 9月11日 経済観光局質疑

## 小売市場への支援

2025.9.11 | 決算特別委員会 経済観光局

**Q** 震災も乗り越えて近隣住民に長年親しまれてきた長田中央市場が営業を終了した。当事者も活性化に向け施設の活用を検討してきたが、有効なテナント誘致等できないまま閉店に至った。一定の組合員数があり、あらゆる可能性を検討できる時期を逸すると、アイデアがあっても実現が難しい。市場の関係者と経営課題を共有し、市も主体的に市場の盛り上げや再生に関わっていくべきではないか。

**A** 商業の活性化に向け、小売市場の魅力を広く知ってもらうために広報紙KOBEでも小売市場の取組を紹介するなど集客を支援してきた。難しい課題があるが、解決策の選択肢がある段階で、まちの活性化という観点で、行政が主導的に当事者と将来像について深い議論しながら、小売市場の再生に力を注いでいきたい。



# 健康と安心を守る!



## 口腔機能の維持

2025.10.10 | 本会議 一般質問

**Q** 国と日本歯科医師会が提唱してきた8020運動や、本市が推進してきた高齢者のオーラルフレイルチェック対策の成果で高齢でも自分の歯がある方が増えたのは良いが、病気や認知症で、自身での歯磨きが困難となるなど、歯が残っているがゆえの課題も生じている。口腔ケアと同時に摂食・嚥下機能の維持など、高齢者に特有の対応も必要となってきた状況も踏まえて今後どう取り組むのか。

**A** 摂食・嚥下機能の維持への対応は、地域の診療所で治療が困難な患者を診てきたこうべ市歯科センターで、歯科医師会と協議しニーズの把握に努めるなど、まず課題を整理したい。また歯周病検診やオーラルフレイルチェックの受診率向上や、訪問事業への支援を通じて、高齢者の口腔機能の維持・向上に取り組む。

## はり、きゅう、マッサージ施術の活用

2025.10.10 | 本会議 一般質問

**Q** 本市では高齢者福祉の一環として、はり、きゅう、マッサージ施術割引券を70歳以上の方に交付しているが、予防的な健康施策の観点から、前期高齢者や働く人も応援する事業へと考え方を転換し、より幅広い世代の健康増進に資する制度へ見直しはどうか。

**A** 割引券の利用率が40%程度なので、まずは現行の対象年齢の方に幅広く使用いただけるよう制度の周知等を進める。一方で、幅広い世代の健康増進策として啓発や相談を実施し、国保では40歳以上の方に特定健診等を推進している。予防の観点や働く人を応援することは重要であり今後もしっかり取り組みたい。

## 妊娠前からの健康支援

2025.10.10 | 本会議 一般質問

**Q** 本市では妊娠前から子育て期の切れ目無い支援を掲げ、プレコンセプションケアの推進なども一定は取り組んでいるが、不妊への対応や、女性特有の健康課題への支援は一層重要になっている。例えば子供を授かりやすい体づくりに鍼灸を取り入れる等、子供を授かることからの切れ目ない支援を充実させてはどうか。

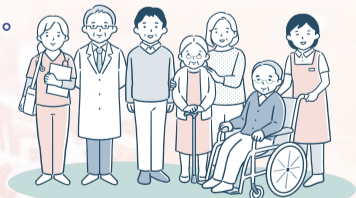
**A** 女性特有の健康課題への対応は国の主要施策として位置づけられており、市としても重要視している。今年度は女性のウェルビーイング×ヘルスケアをテーマに、シンポジウムや勉強会を実施した。また神戸大学と連携し、女性に多い低栄養や骨粗鬆症に関する分析を進め、今後の活用を検討している。今後も新たなテクノロジーの活用など注視をし積極的に取り組む。

## 民間病院への支援

2025.10.10 | 本会議 一般質問

**Q** 近年、赤字経営の病院が全体の約7割に上り、民間病院についても持続可能な体制の議論が必要だ。本市は二次救急医療体制を維持するため年間約2億7,000万円の運営補助金を交付してきたが、搬送件数は増加しており、昨今の物価高騰の影響下の危機的な状況を踏まえ、必要な支援策を講じるべきではないか。

**A** 市民の命と健康を守る体制は、市民病院群だけでは成り立たない。特に夜間・休日の民間病院による輪番体制は、市内二次救急医療になくてはならない。昨今の物価及び人件費の上昇も踏まえ、運営費補助の在り方を令和8年度予算の中でしっかりと議論したい。



## 神戸市会ナビ

市会の活動(定例会の報告や議員の発言、議会の中継など)に関する最新情報や、議会をより身近に感じてもらうための広報コンテンツを随時アップ中です。



わかりやすく  
市会の動向を  
お知らせします。



神戸市会ナビ

検索

リニューアル!  
会派HPでも  
日々の活動をお知らせしています



お問い合わせ 連絡先

平井まち子事務所

長田区五位ノ池町3-9-30

TEL.& FAX. 078-643-0647 (電話は月~金 9時~17時)

machiko.h@earth.ocn.ne.jp